

秀麗富嶽十二景と山梨百名山 高畑山～倉岳山

実施日 2013年1月19日(土)
天候 快晴
リーダー 鈴木恵美子 SL 一柳昭
参加者 若村勝昭、一柳昭、涌井良明、島本陳重、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、古川美恵子、小名秀鋭、鈴木恵美子 計14名
費用 JR 880円(高尾起算)
タイム 鳥沢駅(8:35)登山口(9:05-9:10)石仏分岐(9:47-9:52)仙人小屋跡(10:52-10:57)高畑山(11:47-12:30)天神山(13:00)倉岳山(13:43-13:58)立野峠(14:24)登山口(15:33)梁川駅(15:55)

14日に降った大雪のため、鳥沢駅からの車道にも結構、雪がある。国道20号線沿いに東に歩いて、「高畑山・倉岳山」の標識にしたがって進む。林道ゲートから登山開始。小篠貯水池の南側で小篠沢を渡ると、「峠道文化の森入口」の標識。沢沿いを登って行くが、9日前に下見に来た時とはまるで様子が違い、雪が積もって、登山道が見えない。



踏み跡を探しながら登るが、何度か道を間違えそうになる。雪の山の難しさを実感する。

右に高畑山への分岐点には古い石仏が立っている。高畑山への道は1/2.5万図



には載ってない)、段々急になってきて、アイゼンを着ける。更に登ると、仙人小屋跡に着く。ここから左に折れる。急登で、40cm位の深い雪だったが、昨日か今朝か、新たに降った感じのサラサラの粉雪で、フカフカで気持ちがいい。

前に登った人の踏み跡があるので、それほど大変ではない。こういうのを「ラッセル泥棒」というのだとWリーダーから教わった。またひとつ賢くなった(?)

急登を登り切ると高畑山山頂。秀麗富嶽十二景の名前に違わず、富士山が素晴

らしい姿を見せ
てくれている。
真っ青な空に真
つ白な飛行機雲
が二筋、印象的
だ。

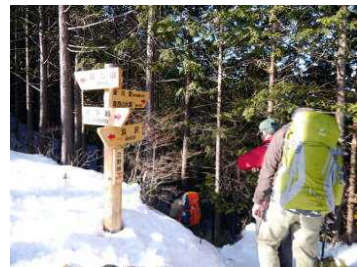
この山頂は比較的に広いので昼食を楽しむ。休憩後、「穴路峠」と書かれた道標に従って、東に延びる尾根道を進む。天神山を越え、穴路峠を横断し、倉岳山への道に入る。



最初は平坦な尾根道だが、やがて急登になり、急登を終えて、右にほんの少し緩やかに登ったら、倉岳山山頂だ。

月並みな表現だが、ここでも美しい富士山が我々を待っていてくれた。倉岳山の山頂からは急下降だが、雪が深いので却って歩きやすい。

何度か小さなアップダウンを繰り返して、立野峠を過ぎても、人待ち顔のベンチがあり、通り過ぎようかと思っただけ、ベンチさんのリクエストにこたえて、少し休憩。



梁川駅へは北面の檜の植林帯を下り、植林帯を出ると、月屋根沢を何度か渡り返しながら下る。下見の時には見えた岩の赤いペンキも、多くは雪で隠れていて、渡り返すところの道がわかりにくい。

このあたりの雪は凍っていて滑りやすく、気が抜けない。やがて沢を離れ、山腹道を行く。樹林を抜けて、車道に下りてから左(北)に進み、梁川駅に着く。

思った以上に雪があったため、迷リーダーとしては色々、難儀した部分もあった(今回の反省はやはり、アイゼンは家で何度も装着の練習が必要、etc.)が、ベテランのリーダー方、参加者の皆さんに助けられ、無事に山行を終えられたことを嬉しく思う。

皆さん、ありがとうございました、そしてお疲れ様でした。また、懲りずに一緒に登っていただければ幸いです。

(記・鈴木 恵美子)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄)